

市政に対する一般質問

(令和7年12月17日)

◎質問1番

11番 駒井和彦

1 クマ対策について

- ① 市民への安心のための情報提供について
- ② 政府のクマ対策パッケージの対応について
- ③ 市街地等へのクマ入り込み対策について
- ④ 通学路、保育園ルートにおけるクマ対策について
- ⑤ 中山間地域の特に高齢者に対するクマ対策について
- ⑥ 猟友会等との連携等について

2 柏崎刈羽原発再稼働について

- ① 再稼働容認に係ることについて
 - ・ 7項目の確約についての受け止めについて
 - ・ 上記文書確約について
 - ・ 県が進めるチェック体制について
 - ・ 東電が示した1千億円の資金拠出についての受け止めについて
 - ・ 使途を安全対策と地域振興に充てられる可能性の評価について
 - ・ 資金が地域の安心確保や活性化に、どの様に貢献し得るかにについて
- ② 避難計画や医療体制等、実際の住民保護体制（検証含）について
- ③ 高レベル放射性廃棄物について、倫理的・世代的責任の観点から、未来に責任を果たせるかについて
- ④ 移住・定住の促進、観光振興を掲げる当市として、原発再稼働は矛盾しているのではないか。
- ⑤ 前段2項目目全質問を踏まえ、改めて市長は原発再稼働についてどう考えるか。

◎質問2番

2番 佐藤勝義

1 高齢者福祉の充実化について（ケアマネジャー支援と身寄りなき高齢者へのサポート支援）

- ① ケアマネジャーの人材確保の観点から他市の事例も参考とし、小千谷市の独自の制度設計を検討導入することが必要と考えま

す。ご見解を伺います。

- ② 当市としても介護支援専門員（ケアマネジャー）の処遇改善の働きかけは、国や県に対して訴えていくことが必要と考えますが、ご見解を伺います。
- ③ 小千谷市では、65歳以上の一人暮らしの高齢者世帯や身寄りのない高齢者のみの世帯などを対象に現状把握調査を実施している中、現状の各対象世帯数は。
現状からみて、今後の新たなサービスを検討しているものはあるのか。今後の方向性を含めご見解を伺います

◎質問3番

8番 内 山 博 志

1 AI オンデマンドタクシーなど公共交通について

- ① 市街地と周辺部の利便性格差解消について今後のお考えを伺います。
- ② AI オンデマンド交通の運行時間の延長などについてのお考えを伺います。
- ③ 利用料金引き下げについて検討できないか伺います。公共交通の地域による利便性格差を解消するまでの間、周辺部の高齢者や免許返納者などにタクシー券等の支援を検討すべきではないか伺います。

2 国の小学校給食費無償化方針に伴う小千谷市の対応について

- ① 給食の質を維持し無償化を実現するため小千谷市としてはどう対応するのかお考えを伺います。
- ② 市立総合支援学校に対する給食費無償化の対応についてもお考えを伺います。
- ③ 不登校やアレルギー、宗教上の理由等で弁当を持参している人数などの実態と給食費への対応について伺います。

3 柏崎刈羽原発再稼働に対する花角県知事の判断について

- ① 花角県知事の原発再稼働容認の判断に対する市長のお考えを伺います。

◎質問4番

3番 和 田 忠 篤

1 小千谷市の資金調達（地方債）と資金運用（基金）について

- ① 資金調達（市債）と資金運用（基金）の基本的な考え方
・ 基本的な考え方

自治体財政における資金の「調達」と「運用」について、当市の基本的な考え方を伺う。

- ・ルール化の取組

資金調達・運用に関するルールや規定を定めているか、また今後の整備予定を伺う。

- ・専門性の確保体制

資金管理における客観性・専門性を確保するための体制づくりをどのように考えるか伺う。

② 資金調達（市債）

- ・借入先の構成

市債の主な借入先を伺う。

- ・償還方式の選定

市債の償還方式を伺う。

- ・利子負担率の把握

当市の起債残高に対する利子負担率はどの程度か伺う。

- ・利子負担の妥当性

他市町村と比較して、当市の利子負担率は妥当な水準か、その理由を伺う。

- ・市債発行時の重視観点

市債を発行する際、当市が重視している観点を伺う。

- ・繰上償還の方針

金利上昇局面における市債残高の繰り上げ償還をどのように位置づけているか伺う。

- ・財政調整基金の活用

財政調整基金の一部活用を検討する余地があるのではないかと伺う。

③ 基金の運用

- ・基金運用の法的趣旨

基金運用に関する地方自治法第241条2項の趣旨をどのように捉えているか伺う。

- ・運用状況

基金の運用利回りについて伺う

- ・実績

基金の運用益について伺う。

- ・運用手法の方針

基金を個別運用としているのか、一括運用を検討しているのか伺う。

◎質問 5 番

1 4 番 久保田 陽 一

1 新たな財源確保について

① ネーミングライツ

- ・ 体育館等公共施設にネーミングライツを導入し、安定的な財源確保による持続可能な施設運営を行うべきと思うが見解は。
- ・ 実際に前回質問以降、研究・検討はなされたのか。
- ・ 新たな広告収入等の検討はされたのか。

② ふるさと納税

- ・ 今年度のふるさと納税の寄付額は。
- ・ 返礼品の品目の増減、新たにどのような返礼品が開発されたのか。
- ・ 特産品相互取扱協定を締結している泉佐野市とふるさと納税についての情報交換・共有、アドバイス等を受けているのか。

③ 企業誘致

- ・ 市の保有資産への企業誘致の働きかけを行っているのか。
- ・ 民間の空きビルや空き店舗への企業誘致や起業支援も定住施策と同様重要かと思われるが見解は。

④ メタバース・NFTの活用

- ・ 歳出予算がなくても今すぐに取り組める施策であり、小千谷市も積極的に取り組むべきと考えるが見解は。

⑤ 電源三法交付金対象地域拡大

- ・ 電源三法交付金制度の見直しが行われれば、どのくらいの交付金が想定されるのか。

⑥ 上記以外の新たな財源確保

- ・ 前回質問時のクラウドファンディングやソーシャルインパクトボンド、その他新たな財源確保のためにどのような施策を研究し検討したのか。

◎質問 6 番

7 番 阿 部 守 男

1 区画整理事業の今後について

- ① 知事発言に対しての小千谷市のこれからの区画整理事業の進め方

2 日本型直接支払交付金制度について

- ① 中山間地域直接支払交付金の小千谷市の取り組みに対しての実態と今後

◎質問 7 番

5 番 高 木 健 太

1 「子ども 1 1 0 番の家」に関する警察・市・地域の連携強化と、登下校時の防犯体制づくりについて

- ① 「子ども 1 1 0 番の家」についての実態と把握について
- ② 庁内連携や情報共有のルートの明文化、協議体制整理について
- ③ 「小千谷市通学路安全推進会議」に「防犯分野」を追加し、「子ども 1 1 0 番の家」などの現状確認や連携を扱うことについて
- ④ 学校、児童への制度の指導について、また新たな周知方法（デジタルマップ化など）を検討する考えがあるか。

市政に対する一般質問

(令和7年12月18日)

◎質問8番

16番 田 中 淳

1 市内小中学校の不登校児童・生徒の対応について

来年度開校を予定している小千谷市の「学びの多様化学校」の運営だけでなく、学校に行けない子供たちを当市の教育機関として、どのように支え取組んでいくのか。

実態の把握と関係機関等と水平展開の図り方を含めた対応を、教育政策として取り組み・展開していくのか以下質問するものです。

- ① 不登校児童・生徒数と教室に入れない一般的に言うところの保健室登校の児童・生徒数。併せて近年の傾向は。併せて不登校児童・生徒の市内全校生に対する比率はどうなっているか。
- ② 不登校児童・生徒（教室に入れない児童・生徒を含む）の要因分析はされているのか。
- ③ 自閉スペクトラム症（ASD）・注意欠陥多動性障害（ADHD）・発達障害・統合失調症などの要因により学校に来れない児童・生徒に対しての支援体制を個人調査票等の有無と併せてお聞きします。
- ④ 先の質問に関連しますが、自閉スペクトラム症（ASD）、学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）及び高機能自閉症、統合失調症等による不登校の児童・生徒への対応について担当課や専門医との関係性についてお聞かせください。
- ⑤ 家庭環境により学校に来れない子供については、非常にデリケートな問題であり現場の教員の方々も対応に苦慮されていることと存じます。このようなケースでは、学校が家庭に対してどのような対応をとっているのか、お聞かせください。
- ⑥ 学びの多様化学校の開設を来春にひかえて、教育委員会で議論が交わされていることと思います。学びの多様化学校が開設することにより、学校に行けない子供たちの比率の期待する変化についての

予測をお聞かせください。

- ⑦ 2013年9月28日に文部科学省よりいじめ防止対策推進法が交付され、目的や理念などは定義されているが実際の対応は現場である学校に投げている。これでは学校現場の負担が増えるばかりである。学校に行ける子供たちを阻んでいる子供たちの存在をどう解決すべきと教育長はお考えか答弁願います。
- ⑧ 学びの多様化学校の開設により、不登校生徒（教室に入れない生徒を含む）の進学先がどのように変化すると、予測しているのか。
- ⑨ 学びの多様化学校開設にあたり、教育施設のモデルとする物件があれば説明ください。

◎質問9番

12番 森 本 恵理子

1 獣害対策について

- ① 専門部署の設立、担当課の統一について
- ② 電気柵の計画的導入と国交付金の活用について
- ③ 猟友会の支援と捕獲体制の強化について
- ④ 職員研修と知識習得体制の強化について
- ⑤ クマと共存するための環境整備について
- ⑥ AI・ICT等デジタル技術の導入について

2 高齢者が安心して暮らせる福祉サービスについて

- ① 介護タクシーの不足について
- ② ケアマネジャーの支援策について
- ③ 高齢者相談窓口について

3 生理用品の学校トイレ設置について

- ① 生理用品の学校トイレ設置について

◎質問10番

10番 住 安 康 一

1 雪に負けない小千谷の雪対策について

- ① 雪に負けない小千谷の雪対策を前に進めるため、市道に関する消雪に金銭的な住民負担が極力かからない仕組みを構築することに関して、見解を伺う。
- ② ポンプ等の更新工事に「受領委任払い制度」を導入すべきではないか。見解を伺う。

- ③ 市道以外の未認定道路への補助拡充について、見解を伺う。
- 2 小千谷市における物価高騰対策について
 - ① 暮らしへの支援として、また、企業への支援として、市独自の事業としての物価高騰対策をどのように進めるのか、見解を伺う。
- 3 R S ウイルス感染症について
 - ① 来年4月の妊婦への定期接種開始に合わせて、本市でも独自に高齢者へのR S ウイルスワクチン接種助成を検討すべきではないかと考えるが、見解を伺う。

◎質問 1 1 番

6 番 平 澤 智

- 1 町内会と行政の連携について
 - ① 認可地縁団体の現状について。
 - ② 町内会と行政の連携について
 - ③ 町内会の市内における現状について
 - ④ 地域の街灯整備の状況について
- 2 商店街活動と行政の連携について
 - ① 商店街活動に対する支援体制について
 - ② ホントカ。を中心とした商店街活性化活動の可能性について
 - ③ S N S 等を利用した情報発信ツールによる商店街活動の支援について
 - ④ 空家・空き店舗利用促進によるチャレンジショップ等の展開について
 - ⑤ 商店街連携支援について

◎質問 1 2 番

4 番 佐 藤 瑞 穂

- 1 債権管理をめぐって
 - ① 債権による課題について

令和6年度小千谷市各会計決算及び各基金の運用状況審査意見書から、一般会計の款別予算執行状況によると、令和6年度の市税については不納欠損額822万5717円、収入未済額1億8643万4262円、その増減率は122.4%の増となっています。

 - ・滞納繰越分となる債権の増加や固定化は、決して無視することのできない行政課題となりうるのではないのでしょうか。ご見解を伺います。

- ・小千谷市における長期滞納案件や徴収困難案件の状況と滞納繰越分収納率の推移について伺います。
- ・長期滞納案件において、回収可能性のない債権をいつまでも管理し続けることは、貴重な人的・財的資源を損失することにも繋がります。特に回収困難な債権については欠損不能処理としたり、専門知識を持つ債権回収事業者や弁護士法人等へ委託したりするなど、長期滞納事案に対する方針を伺います。
- ・新潟県地方税徴収機構との連携や取り組み実績について伺います。

② 債権管理業務の効率化について

- ・課を横断した全庁的な情報共有や一元的な債権管理の体制を目指すべきだと考えますが、債務者の情報共有や債権回収ノウハウの共有は適切かつ効果的に行われているでしょうか。伺います。
- ・回収が見込めない債権を不納欠損処理とする判断プロセスについて、方針は定められているでしょうか。また、不能欠損処理とすることによる債権管理業務の人的・財的コストパフォーマンスについて伺います。
- ・公法上の原因により強制徴収が認められている公債権と異なる、水道使用料や公営住宅の家賃など私法上の原因による私債権について、近年の傾向や債権管理業務の課題感を伺います。
- ・先行する他市の事例を参考に債権管理条例を制定することで、小千谷市においても債権管理の体制強化と業務効率の向上が期待できるのではないのでしょうか。条例制定も見据えた小千谷市における今後の債権管理の方針について伺います。

③ 債権をめぐる法務支援体制について

- ・債権をめぐって小千谷市が顧問弁護士に相談・照会する件数やケース、裁判所に訴える件数やケースについて伺います。
- ・本人の搜索や相続人への交渉、裁判所への訴えなど、法的手続きも含めた地域の利害関係者の負担や課題感を小千谷市としてどのように捉えているでしょうか。また、多重債務者や徴収困難案件の関係者への支援や相談体制についても、すでに用意されている無料法律相談や法テラスの利用促進をはじめとして、より一層の法務的な支援、司法アクセスの確保や啓発、アウトリーチが必要ではないのでしょうか。ご見解を伺います。

◎質問 13 番

1 番 廣 井 良 宣

- 1 スポーツコミュニティプレイス「ソコラテ」について
 - ① 平時と災害時での担当課の連携について
 - ② 管理業務委託について
 - ③ 公民館事業などについて
- 2 外国人に対する施策について
 - ① 労働力人口と労働力率の変化について
 - ② 市町村別事業所の売上高及び付加価値額について
 - ③ 外国人材の積極的な受け入れについて
 - ④ 当市が実施してきた施策と今後の取り組みについて
 - ⑤ 国内人材受入れ事業所並びに採用企業との連携について
 - ⑥ 県と連携した優良認定制度の創設について
 - ⑦ 「地域における多文化共生推進プラン」改訂と当市の外国人材に対する施策に対する影響について